

Evolved Programmable Network Managerシェルパスワードの更新

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[コンフィギュレーション](#)

[確認](#)

はじめに

このドキュメントでは、EPNMサーバのシェルパスワードを更新する手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Evolved Programmable Network Manager (EPNM)
- 現在のシェルパスワード

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- EPNMソフトウェアバージョン7.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

 注：このプロセスでは、現在のシェルパスワードを知っている必要があります

コンフィギュレーション

ステップ 1 : adminとしてEPNM CLIにログインします。

ステップ 2 : 「shell disable」コマンドを実行し、プロンプトが表示されたら現在のシェルパスワードを入力します。

```
<#root>
```

```
epnm/admin#
```

```
shell disable
```

```
Enter shell access password :
```

```
shell access is disabled
```

```
epnm/admin#
```

ステップ 3 : 「shell」コマンドを実行し、プロンプトが表示されたら新しいシェルパスワードを入力します。

```
<#root>
```

```
epnm/admin#
```

```
shell
```

```
Shell access password is not set  
Configure password for shell access
```

```
Password :  
Password Again :
```

```
Shell access password is set  
Run the command again to enter shell  
epnm/admin#
```

確認

更新されたパスワードを使用して「shell」コマンドを実行し、Linuxシェルにドロップされるかどうかを確認します。

```
<#root>
```

```
epnm/admin#
```

epnm/admin#

shell

Enter shell access password :

Starting bash shell ...

ade #

ade #

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。